

(様式2) 平成 22 年度

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572212678		
法人名	株式会社 松峰園		
事業所名	グループホーム松峰園		
所在地	八峰町峰浜水沢字カッチキ代41-58		
自己評価作成日	平成22年9月4日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/Top.do
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会		
所在地	秋田市旭北栄町1-5		
訪問調査日	平成22年9月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご高齢の方々の介護を行うということは、常に「最期の時」ということを意識せずには、成り立たないと考えます。私達は、目の前にいる方々が、松峰園でずっと暮らしたい、最期を迎えたいと考えるならば、「第2の家」としてその思いを叶えるよう努力します。主治医、訪問看護師、薬剤師の方々より指導を受けながら、安楽な生活ができるように対応します。

また、認知症により生じる暮らしにくさに対しては、精神科医より指導を受け状態の正しい把握に努め必要ならば安全な薬の使用を心がけます。私達の目の前にいる方々は、長い年月を過ごし、現在をいきいきと過ごしているという事を感じ取り本人の持つ強さを大事にし、ともに暮らしていきたいと考えます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域の退院後の受け皿不足を解消するために開設した事業所で、認知症対応型通所介護を併設し、認知症の程度だけでなく家庭状況や身体状態の重度化に応じて、隣接する同法人の有料老人ホームや、地域の医療機関と連携しながら地域ニーズに柔軟に対応している。

重度の利用者が多いため医療面でのケアの比重が多く、重度化や看取りへの対応について医療機関と連携・協力体制を築き、実際に看取りの経験もしている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
	1ユニット(Aユニット)		2ユニット(Bユニット)		
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
項 目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
		1ユニット(Aユニット)		2ユニット(Bユニット)	
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	墓参りに行きたい、誰もいなくなった家を見守りたい、行きつけの床屋に行きたい。住み慣れた地域の小さな施設だからできることだと思い、取り組んでいます。	墓参りに行きたい、誰もいなくなった家を見守りたい、行きつけの床屋に行きたい。住み慣れた地域の小さな施設だからできることだと思い、取り組んでいます。	「一人ひとりが地域で暮らし続けられる社会づくり」を法人の理念として掲げ、「和やかな空間で、その人らしく暮らせる家づくり」を事業所独自の理念としている。 また、代表者及び管理者が率先して日々の実践に取り組み、理念の共有に努めている。	全職員まで理念の浸透が図られていないため、定期的に理念を振り返る機会をつくるなど、日常的に理念を共有できる仕組みづくりを期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	幼馴染が遊びに来たり、近くに来たひ孫さんや孫さんが、遊びに来たりしています。地域のが、「松峰園は、よくみくれるよ」と言っていたと聞くと、やはりうれしいです。	幼馴染が遊びに来たり、近くに来たひ孫さんや孫さんが、遊びに来たりしています。地域のが、「松峰園は、よくみくれるよ」と言っていたと聞くと、やはりうれしいです。	新興住宅地で共働き家庭が多いため日中の人通りが少ないが、近くの子ども園の運動会に招待されたり、子ども会の祭りの神輿が事業所を訪れるなどなど交流を図っている。 また、中学生の職場体験を受け入れ、認知症対応型通所介護も継続して利用されており、地域の福祉拠点として貢献している。	開設5周年を記念し、職員を対象に講演会を行う予定であるが、広く地域住民にも呼びかけるなど、事業所の役割として認知症の周知・啓発にさらに取り組むことを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	2周年の時に精神科の先生にお願いして地域の方々にも参加していただき、講演会をしました。5周年を迎えましたが、今年は、「死」をテーマにした講演会を開催しました。	2周年の時に精神科の先生にお願いして地域の方々にも参加していただき、講演会をしました。5周年を迎えましたが、今年は、「死」をテーマにした講演会を開催しました。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は、GH、有料老人ホーム、訪問介護STもみてもらい意見をいただくことにしました。忙しさにかまけて開催しないことを防ぐために、偶数月の20日頃と取り決めをしまして、定期的に開催することを目指しています。	今年度は、GH、有料老人ホーム、訪問介護STもみてもらい意見をいただくことにしました。忙しさにかまけて開催しないことを防ぐために、偶数月の20日頃と取り決めをしまして、定期的に開催することを目指しています。	今年度から開催日を固定し、新たに行政担当者の参画を得て2か月毎に開催しており、認知症状が改善してきた方の在宅復帰の可能性を検討している。 また、避難訓練における地域住民の協力について提案があり、実際の協力体制の構築につなげている。	定期的に開催できているため、今後は会議の機能を存分に生かし、事業所の運営及びサービスの向上につなげてほしい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	今年度より福祉課職員の方に推進会議に参加してもらっています。以前よりは、話しやすくなったように思います。	今年度より福祉課職員の方に推進会議に参加してもらっています。以前よりは、話しやすくなったように思います。	今年度から行政担当者が運営推進会議に参画したことにより、現場の声や制度に関する相談なども気軽にできる関係を構築している。 また、スプリンクラー設置や処遇改善交付金の活用など、行政と連携しながら労働環境の整備にも努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	抑制服の存在をわからない職員がほとんどです。こんな事をすると、嫌だろう、という素朴な気持ちのままに対応してくれています。車椅子のブレーキを介助できないようにする、ことが園で行われている抑制です。法的根拠も勉強する必要があると思っています。	抑制服の存在をわからない職員がほとんどです。こんな事をすると、嫌だろう、という素朴な気持ちのままに対応してくれています。車椅子のブレーキを介助できないようにする、ことが園で行われている抑制です。法的根拠も勉強する必要があると思っています。	職員は他施設等での経験が少ないため、事業所の指導や研修により身体拘束に対する認識と方針の徹底を図っている。 また、転倒予防のため、車イス移乗時に安全ベルトを使用した際には時間を記録し、行動パターンを把握したり職員配置を工夫しながら抑制せずに対応する方法を検討している。	

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、ケアマネは、研修で学びましたが、他の職員は、ありません。常日頃管理者は職員に、自分の中の恐れ自分の存在に気づくように話しています。自分の中の虐待に発展する芽に気づくことが防止の一歩だと思っています			
			管理者、ケアマネは、研修で学びましたが、他の職員は、ありません。常日頃管理者は職員に、自分の中の恐れ自分の存在に気づくように話しています。自分の中の虐待に発展する芽に気づくことが防止の一歩だと思っています			
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者やケアマネは、研修で学びましたが、他の職員には、耳慣れない言葉だと思っています。研修の機会は、少ないので、実際に使っている入所者の方を例にして制度をりかいしていきたいと思っています。			
			管理者やケアマネは、研修で学びましたが、他の職員には、耳慣れない言葉だと思っています。研修の機会は、少ないので、実際に使っている入所者の方を例にして制度をりかいしていきたいと思っています。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書は、わかりにくいのでポイントをわかりやすく説明しています。			
			契約書は、わかりにくいのでポイントをわかりやすく説明しています。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	外部評価のアンケートは、参考にさせてもらっています。が、個々のケアではなく運営に対する意見を聞く機会は、設けていません。	外部評価のアンケートは、参考にさせてもらっています。が、個々のケアではなく運営に対する意見を聞く機会は、設けていません。	意見箱の設置や運営推進会議時に情報交換しており、以前に「職員が誤って腕時計を洗濯した」事実を家族の指摘により把握したことを受け、管理者への報告を徹底させている。	ユニット毎の玄関に意見箱を設置しているが、1か所の前には荷物が積まれ、利用できない状態にあるため、玄関先の整理を含めて効果的な意見の集約方法を検討してほしい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員ミーティングでは、意見が出ません。管理者は、日々の職員との会話に注意を払い、また中核職員からの意見を聞くようしています。管理者は施設長にそれらの意見を伝えています。	職員ミーティングでは、意見が出ません。管理者は、日々の職員との会話に注意を払い、また中核職員からの意見を聞くようしています。管理者は施設長にそれらの意見を伝えています。	職員会議での意見が少ないことから、申し送りの時間を延ばし、日常会話や中堅職員の育成などで意見の集約に努め、入浴用具の充実などに反映させている。 また、前回評価結果で課題にしている研修計画については、年度末に「職員個人情報カード」を作成し、目標や研修希望などの意見を反映しやすい仕組みづくりに努めている。	職員の意見を引き出すよう試行錯誤しながら環境整備に努めているため、今後も積極的に職員と意見交換する機会をつくり、気軽に意見や提案をできる関係構築に取り組んでほしい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	キャリアパスの要件の整備に現在取り組んでいます。	キャリアパスの要件の整備に現在取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者がその役目を担っています。管理者は、職員の一人ひとりを知り、個々人のレベルアップができるように、研修等を考えています。常に代表者に説明し、多忙な代表者が、職員を把握できるように努めています。			
			管理者がその役目を担っています。管理者は、職員の一人ひとりを知り、個々人のレベルアップができるように、研修等を考えています。常に代表者に説明し、多忙な代表者が、職員を把握できるように努めています。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	昨年の外部評価を受け、今年度は10月頃に小グループで、他のグループホームの見学を予定しています。			
			昨年の外部評価を受け、今年度は10月頃に小グループで、他のグループホームの見学を予定しています。			
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	自分で正しく訴えれば、よいのですが、なかなか難しい方が多いのが現状です。先日近所の特養ショートより入所した方には、入所前に何度か、面会し顔見知りになりました。			
			自分で正しく訴えれば、よいのですが、なかなか難しい方が多いのが現状です。先日近所の特養ショートより入所した方には、入所前に何度か、面会し顔見知りになりました。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所の相談のときに家族の困っていることを、把握できるようにしています。それまで関わっていたケアマネの意見も十分聴くようにしています。		
			入所の相談のときに家族の困っていることを、把握できるようにしています。それまで関わっていたケアマネの意見も十分聴くようにしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食品を搬入してくれる業者の方が、「この婆さんたちは、自分の家のようにしているなあ」といってくれます。		
			食品を搬入してくれる業者の方が、「この婆さんたちは、自分の家のようにしているなあ」といってくれます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状態を知ってもらおうと思っています。必ず来るだろう 死 について考えてもらいたいと思っています。		
			食品を搬入してくれる業者の方が、「この婆さんたちは、自分の家のようにしているなあ」といってくれます。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの床屋に行ったり、残してきた家を見に行ったりしています。	同級生や友人、元教師の方の教え子が訪ねてくれるなど、昔からの人間関係が継続できるよう支援している。 また、2か月毎にパーマをかけに行く方、墓参りや外泊する方がいるほか、事業所を利用している夫のもとに妻が通所介護を利用して訪れ、世話をするなど夫婦関係の継続も支援している。	
		馴染みの床屋に行ったり、残してきた家を見に行ったりしています。			
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	重度の認知症の方でも、一緒に暮らしていると、関係性が作られるのだと、あらためて考えさせられています。職員の力でできなくても利用者さん同士の力があって、上手く暮らしていることを、職員は感じています。	/	/
		重度の認知症の方でも、一緒に暮らしていると、関係性が作られるのだと、あらためて考えさせられています。職員の力でできなくても利用者さん同士の力があって、上手く暮らしていることを、職員は感じています。			
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	7月に退所したAさんに関しては、連絡先になっています。入院先のDrとも状態を話し合い、家族にわかり易く伝え、支援員さんとも連絡を取り合いながら、本人のこれからを考えています。	/	/
		7月に退所したAさんに関しては、連絡先になっています。入院先のDrとも状態を話し合い、家族にわかり易く伝え、支援員さんとも連絡を取り合いながら、本人のこれからを考えています。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分で意思を伝える人は、話を聞きます。困難なひとは、毎日の様子を見たり、家族と話し合ったりして思いを汲み取ろうと努力しています。	利用者及び家族からの訴えが少ないことを前回評価結果でも課題にしているが、職員の経験が浅いことを前向きに捉え、「利用者の言動に根拠付けするのではなく、ありのままを受け入れよう」との姿勢で日々の関わりから意向の把握に努めている。	今後の利用者との関わりの中で、職員が対応に悩む時期があると思われるため、職員の感性に任せるだけでなく、専門性を養いながら利用者及び家族との信頼関係づくりに努めてほしい。
		自分で意思を伝える人は、話を聞きます。困難なひとは、毎日の様子を見たり、家族と話し合ったりして思いを汲み取ろうと努力しています。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	担当ケアマネに話を聞きます。もちろん家族にも聞きます。本人にも聞きます。	/	/
		担当ケアマネに話を聞きます。もちろん家族にも聞きます。本人にも聞きます。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録用紙を24時間の時系列にしています。そうすることによって、一日の暮らし方が目に見えるようにしています。アセスメント表も、できないを問うの出なく、どんな状態かがうかんでくるような用紙にしています。	/	/
		記録用紙を24時間の時系列にしています。そうすることによって、一日の暮らし方が目に見えるようにしています。アセスメント表も、できないを問うの出なく、どんな状態かがうかんでくるような用紙にしています。			

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当は、本人と職員の暮らしぶりから必要なケアを計画しています。家族には相談、報告となっています。	計画作成担当は、本人と職員の暮らしぶりから必要なケアを計画しています。家族には相談、報告となっています。	介護計画の作成手順や考え方を明確にし、事業所内に掲示して職員にも意識付けしている。 また、介護計画を確実に実践できるように日々の経過観察記録様式を工夫し、支援内容を記載して毎回確認・評価することで見直しにも反映させている。	介護計画について話し合い、職員間で共有する機会を充実させ、幅広い視野を身に付け実践できるように職員のさらなる専門性の向上に取り組んでほしい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	状態の記録にとどまっているように思います。係わり合いの記録を書く職員もいますが、少ないように思います。気づきや工夫をかけるように取り組みます。	状態の記録にとどまっているように思います。係わり合いの記録を書く職員もいますが、少ないように思います。気づきや工夫をかけるように取り組みます。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする				
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	街の文化祭に短歌を出品したことがあります。長年短歌を作っていた人です。短歌の会への出品は、継続しています。	街の文化祭に短歌を出品したことがあります。長年短歌を作っていた人です。短歌の会への出品は、継続しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	嘱託医は、いませんので、個々のかかりつけ医を大切にしています。認知症を理解し、看取りまで意識して下さるDrに支えてもらっています。	嘱託医は、いませんので、個々のかかりつけ医を大切にしています。認知症を理解し、看取りまで意識して下さるDrに支えてもらっています。	できる限り主治医へ受診できるよう、福祉車両の準備や職員配置などで支援し、緊急時には総合病院へ搬送する体制にある。また、受診が困難な場合は、協力医の往診や歯科往診車による診察で健康管理に努め、薬剤師による指導・助言を得ながら服薬を支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	同敷地内の有料老人ホームにいる看護職員は、必要時、判断、処置、受診等協力します。訪問看護師は、週一の訪問ですが、必要時は、状態報告相談をしています。	同敷地内の有料老人ホームにいる看護職員は、必要時、判断、処置、受診等協力します。訪問看護師は、週一の訪問ですが、必要時は、状態報告相談をしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院したら、洗濯したりおむつを補充したり、食事がすすまない時は、介助したり、夜どうしても不安定になる人は、職員が付き添ったりします。病院関係者は、入院しても協力してくれるGHだと思っています。	入院したら、洗濯したりおむつを補充したり、食事がすすまない時は、介助したり、夜どうしても不安定になる人は、職員が付き添ったりします。病院関係者は、入院しても協力してくれるGHだと思っています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<p>家族には、死は、必ず来るものだ、と考えてもらえるように、意識しています。状態が変わったらおこりうることを説明し、GHでできること、病院でできることを話します。どんな最期を迎えたいか、話し合える人とは、本人とも話します。</p> <p>家族には、死は、必ず来るものだ、と考えてもらえるように、意識しています。状態が変わったらおこりうることを説明し、GHでできること、病院でできることを話します。どんな最期を迎えたいか、話し合える人とは、本人とも話します。</p>	<p>前回評価結果で課題としていたが、事業所は協力医療機関や看護師、同法人事業所との連携を図りながら受け入れ体制を整えており、実際に看取ったケースもある。 また、利用者及び家族の希望に応じて主治医と話し合い、重度化や終末期における生活方針を明確にしたうえで支援している。</p>	<p>利用者の重度化に伴い、今後も終末期の対応が求められるが、代表者は介護職員の医療対応等について課題としているため、現場の実情を行政や地域包括支援センターへ相談するなど、職員がストレスを感じない環境づくりに向けて働きかけてほしい。</p>	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<p>年に一回消防署にお願いして救急の対応の研修をしています。今年度は、10月に予定しています。</p> <p>年に一回消防署にお願いして救急の対応の研修をしています。今年度は、10月に予定しています。</p>	/		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<p>年に2回の避難訓練は、実施しています。9月4日に近所の方々の協力をもらい、18時から全員を外に非難させる訓練行いました。</p> <p>年に2回の避難訓練は、実施しています。9月4日に近所の方々の協力をもらい、18時から全員を外に非難させる訓練行いました。</p>	<p>年2回の避難訓練を実施し、そのうち1回は近隣住民の協力を得ながら夜間に行うなど、前回評価結果を受けて協力支援体制の充実に努めている。 また、スプリンクラーや火災報知器を設置し、近隣特養施設との連携もあり、実際の職員招集時間を把握して手順の見直しを検討している。</p>		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉づかいは、丁寧ではないことが多いと反省しています。最低限、誰がきいても聞き苦しい感じのないように、相手のことを思った話しかけをしています。	職員の経験や利用者と関わってきた時間等により接し方が異なるため、声かけは「周りの人が聞いて嫌な声がけはやめよう」と職員間で注意している。 また、食べたことを忘れる方には、以前は何か食べてもらっていたが、利用者の行動を分析した結果、すぐに部屋に戻らないよう促したり、食材を話題にして話しかけるなど認識できるよう工夫している。	
			言葉づかいは、丁寧ではないことが多いと反省しています。最低限、誰がきいても聞き苦しい感じのないように、相手のことを思った話しかけをしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どの方も自由に暮らしていると思います。思いや希望をあらわしてくれていると思うのですが、実際は、どうかわかりません。	/	/
			どの方も自由に暮らしていると思います。思いや希望をあらわしてくれていると思うのですが、実際は、どうかわかりません。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	決まりを優先することは、ありません。起きる時間も食事の時間も、自由です。が18名全て自由には、暮らせないと思っています。体調の悪い人がいてよいえ位がかわったりもしますが、説明してわかってもらうようにしています。	/	/
			決まりを優先することは、ありません。起きる時間も食事の時間も、自由です。が18名全て自由には、暮らせないと思っています。体調の悪い人がいてよいえ位がかわったりもしますが、説明してわかってもらうようにしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	ほとんどの入所者が、服装に頓着ないように思いますが、職員はタンスの置くから服を探し、みんなで、「似合うね、いいね」と褒めあっています。		
			ほとんどの入所者が、服装に頓着ないように思いますが、職員はタンスの置くから服を探し、みんなで、「似合うね、いいね」と褒めあっています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしのひげをとる、『もやしクラブ』が月曜日金曜日に活動します。水の皮むきも丁寧にしてくれます。無理だと思っていた人が一生懸命に根をとってくれるのをみて職員は、感激し写真を撮ってみんなに見せます。	ほとんどの方が食事の下準備に参加し、 外食や季節、行事に合わせたメニューなども取り入れ、食事を楽しめるよう工夫している。 また、経管栄養の方でも口から食べることを大切にし、食欲がない方には食べたい物を準備するなど、味わいながら確実に栄養摂取できるよう支援している。	
			もやしのひげをとる、『もやしクラブ』が月曜日金曜日に活動します。水の皮むきも丁寧にしてくれます。無理だと思っていた人が一生懸命に根をとってくれるのをみて職員は、感激し写真を撮ってみんなに見せます。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	有料老人ホームとの兼務で栄養士がいます。まだ経験が浅い為食事を作ることで精一杯のようですが、献立の栄養バランスには、気を配っています。介護職員は、常に実際に食した食事、水分に気を配っています。補食も工夫しています。		
			有料老人ホームとの兼務で栄養士がいます。まだ経験が浅い為食事を作ることで精一杯のようですが、献立の栄養バランスには、気を配っています。介護職員は、常に実際に食した食事、水分に気を配っています。補食も工夫しています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ハブラシ、ワイプ、ハミングットをその人に合わせて使っています。職員は、口腔ケアの大切さを実感しています。	ハブラシ、ワイプ、ハミングットをその人に合わせて使っています。職員は、口腔ケアの大切さを実感しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導、ポータ介助、紙オムツ、紙パンツ、大きいパット小さいパットとその人に合わせて支援しています。	トイレ誘導、ポータ介助、紙オムツ、紙パンツ、大きいパット小さいパットとその人に合わせて支援しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘により腸閉塞を起こすこと、また精神的にも落ち着かなくなることを職員はよく理解しています。記録をとり便秘しないように対応しています。薬に頼ることが多いです。	便秘により腸閉塞を起こすこと、また精神的にも落ち着かなくなることを職員はよく理解しています。記録をとり便秘しないように対応しています。薬に頼ることが多いです。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	夜の入浴は、行っていませんし、午前中から入浴しています。園側の都合ととられてもしかたないのですが、ゆっくりと入っていただく為に、そうしています。入浴によって落ち着く人は、タイミングを考えて入浴しています。	夜の入浴は、行っていませんし、午前中から入浴しています。園側の都合ととられてもしかたないのですが、ゆっくりと入っていただく為に、そうしています。入浴によって落ち着く人は、タイミングを考えて入浴しています。	週2~3回の入浴とし、重度の方でも座位の姿勢を保てれば浴槽で入浴できるよう職員配置や入浴補助具の使用など工夫しながら支援している。 また、褥瘡のある方は毎日のシャワー浴を徹底し、足浴や清拭などでも清潔保持に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼間ホールのソファで寝ている人もいます。落ち着かない人は、ホールで寝てもらっています。寂しいと叫ぶ人には、職員が、部屋と一緒にいるようにします。夜勤者で大変な場合は、管理者と一緒に寝ることもあります。	昼間ホールのソファで寝ている人もいます。落ち着かない人は、ホールで寝てもらっています。寂しいと叫ぶ人には、職員が、部屋と一緒にいるようにします。夜勤者で大変な場合は、管理者と一緒に寝ることもあります。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師さんによる支援は、大変ありがたいです。管理者、計画作成担当者は、薬についてよく勉強しています。職員全員よく理解しているとは、いえませんが、管理者等は、日々の症状等観察の留意点を職員に伝え、状態の確認に勤めています。	/	/
			薬剤師さんによる支援は、大変ありがたいです。管理者、計画作成担当者は、薬についてよく勉強しています。職員全員よく理解しているとは、いえませんが、管理者等は、日々の症状等観察の留意点を職員に伝え、状態の確認に勤めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌が好きな人、お裁縫が得意な人、お酒を嗜んでた人、アイスクリームの好きな人、長く暮らすことで知り得たその人のいろいろを大切にしています。	/	/
			歌が好きな人、お裁縫が得意な人、お酒を嗜んでた人、アイスクリームの好きな人、長く暮らすことで知り得たその人のいろいろを大切にしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価	
			実践状況		実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	その日の希望をかなえることは、できていませんが、胃ろうで痰がかかって体動も激しい方を、年に一回は、自宅に連れて行きます。パーマに行きたい人も連れて行きます。なくなったおばさんを拝みに、職員2人着いて、車椅子ごとは込んで家に連れて行ったこともあります。お盆、彼岸の墓参りも連れて行きます。	その日の希望をかなえることは、できていませんが、胃ろうで痰がかかって体動も激しい方を、年に一回は、自宅に連れて行きます。パーマに行きたい人も連れて行きます。なくなったおばさんを拝みに、職員2人着いて、車椅子ごとは込んで家に連れて行ったこともあります。お盆、彼岸の墓参りも連れて行きます。	利用者全員では外出していないが、個々に美容室に出かけたり、買い物や誕生月の食事会など少人数での外出を支援している。 また、車イスの方でも外出できるよう福祉車両で対応し、お盆や彼岸の墓参りなどには家族等の協力を得ながら外部と交流できるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	2人の方が自分でお金を管理して、自分の好きなものを買っています。	2人の方が自分でお金を管理して、自分の好きなものを買っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話したいという希望には、子機で対応します。2人の方が希望しています。手紙を書く人は、一人です。写真を送るときに、本人と一緒に書くこともしています。	電話したいという希望には、子機で対応します。2人の方が希望しています。手紙を書く人は、一人です。写真を送るときに、本人と一緒に書くこともしています。		

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>テーブルの置き方、ソファの置き方いろいろ工夫します。ホールで昼寝している姿を見ると、皆さんのたくましさを感じます。</p> <p>テーブルの置き方、ソファの置き方いろいろ工夫します。ホールで昼寝している姿を見ると、皆さんのたくましさを感じます。</p>	<p>各ユニットのホールが壁1枚で隔てた中央部にあり、職員の声やテレビ、調理の音などが自然と耳に入り、採光も良く利用者が集まりやすい雰囲気がある。 また、玄関付近にソファやテーブル、灰皿を置き、ホール以外でも過ごせるよう配慮している。</p>	<p>トイレをアコーディオンカーテンで仕切っているが、換気が不十分な点やプライバシーの観点から、利用者の目線になって扉で仕切るなどの工夫を検討してほしい。</p>
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	<p>特別意識的に職員がはたらきかけなくても、玄関のテーブル、廊下の端の椅子、ホールのソファ、その場所にいる顔ぶれが決まってくるのが不思議です。</p> <p>特別意識的に職員がはたらきかけなくても、玄関のテーブル、廊下の端の椅子、ホールのソファ、その場所にいる顔ぶれが決まってくるのが不思議です。</p>	/	/
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>心地よく過ごせるように配慮はしていますが、使い慣れたものを置いたり、していないように思います。家族が写真を貼ったり、手作りの飾り物を貼ったりしてくれました。</p> <p>心地よく過ごせるように配慮はしていますが、使い慣れたものを置いたり、していないように思います。家族が写真を貼ったり、手作りの飾り物を貼ったりしてくれました。</p>	<p>備え付きの家具調ベットやチェストのほか、テレビや家族写真など好みの物を持ち込み、身体状態に応じて介護用ベットや家具調ポータブルトイレなども準備し、日中でも自由に過ごせる環境を整えている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>部屋がわからなくなる人には、名前をつけたり、花をつけたり目印をつけます。ペーパータオルや歯磨き用具が車椅子で、とどかないときは、低いところに工夫しておいています。</p> <p>部屋がわからなくなる人には、名前をつけたり、花をつけたり目印をつけます。ペーパータオルや歯磨き用具が車椅子で、とどかないときは、低いところに工夫しておいています。</p>		